



学校通信

平成30年度 第11号

平成31年3月1日

練馬区立開進第三小学校

校長 岡部 良美

「ありがとう」の心を贈る先は

校長 岡部 良美

平成30年度の教育活動も、残り1ヶ月。『子供一人ひとりに誇りと自信をもたせる学校』の実現を目標として教育活動を進めてきました。特に、「開三子供祭」「運動会」「音楽会」「展覧会」「土曜授業公開」において、子供一人ひとりの姿に教育成果の一端を発信できたと確信しています。

さて、3月は、学年末であり、卒業期でもあります。全国各地の学校で、それぞれの思いを胸に、卒業生が巣立っていきます。『ありがとうの言葉』『感謝の心』が、この時期にはいつも以上に表れ、その心が基になった姿が表れるものです。

スタートがあれば、必ずゴールがあります。入口があれば出口があります。入学があれば卒業が、学年初めがあれば学年末もあります。このことは当然ではありますが、それらは対の関係、一組の関係になっています。学校では、学級担任が、クラスの子供たちにどんな言葉を贈ろうかと思案する時期でもあるのです。

卒業を迎える6年生は、「先生、ありがとうございました。」「みんな、ありがとう。」「開三小、ありがとう。」など。卒業が近づくにつれて、そのような気持ちで、子供たちの気持ちはいっぱいになると思います。

進級する5年・4年・3年・2年・1年の子供たちも、「先生、ありがとうございました。」「クラスのみんなありがとう。」「6年生ありがとう。」など、感謝の気持ちが芽生えていることと思います。

卒業を迎える6年生は、六年間の開進第三小学校の生活で、立派に成長してきました。在校生もこの一年間で、一人ひとりが「今よりもよくなりたい。」「今よりもがんばりたい。」と思い、学校生活で努力し、成長をしてきました。成長は、子供たちだけではありません。子供たちを目の前にした教師や保護者、言わば大人も成長してきたのです。子供に教え、授けたことはたくさんあったと思いますが、子供たちからそれ以上に学んだのが私たち大人であると思います。共に学ぶ大人と子供との関係があってこそ、教え合い、育ち合った『教育』が成立するのだと思います。人は、教えられたように教えます。育てられたように育てようとします。教育してもらったように後世を担う人に教育をし、恩返しするのです。子供たちが感謝の気持ちをもつように、私たち大人も子供たちに、「私とよく一緒に生活してくれたね。ありがとう。」という感謝の気持ちと言葉を贈ってあげたら、すてきだなと思います。

歌手グループ「いきものがかり」の曲『ありがとう（水野良樹さん作詞・作曲）』の最初に、

♪「ありがとう」って伝えたくて、あなたを見つめるけど、繋がれた右手は、誰よりも優しく、ほら、この声を受けとめている♪ という歌詞があります。

「あなたの親でよかった。」「あなたの先生でよかった。」そんな心をもって、大切な言葉「ありがとう」を、私たちの周りの大切な子供たちに贈っていきましょう。